

今、できること。



ごみ出しの時にはカラス対策を!



カラスは食べ残しの生ごみのほか、お菓子の袋に残った脂などを狙って、集積所のごみを荒らします。

荒らされるとごみが散乱し、悪臭がしたり景観を損ね、収集作業にも支障が出ます。



対策1 防鳥ネットを正しく利用しよう

多くの町内会ではカラス除けネットを設置していますが、ごみ袋がネットからはみだしていると、カラスに荒らされます。ごみは、ネットの中にしっかり納めましょう。



対策2 ごみ出しの時間を守ろう

ごみが集積所に置かれている時間が長いほど、カラスによる被害を受けやすくなります。ごみ出しの時間を守りましょう。



ごみは回収日当日の朝7時～8時に出しましょう!

対策3 補助制度を利用して生ごみを減らそう

カラスは、生ごみを見ています。食材はなるべく使い切り、食べ残しも少なくしましょう。

野菜くずなどの生ごみを減量するには水切りが効果的であり、リサイクルして堆肥を作ることもできます。

町では、家庭の生ごみの自家処理を促進するため、生ごみ処理機などの購入費用を補助しています。ぜひご利用ください。

補助内容

区分	限度額	1世帯限度基数	
生ごみ堆肥化容器	5,000円	2基	
電気式生ごみ処理機	20,000円	1基	
非電気式生ごみ処理機	10,000円	1基	
ダンボールコンポスト 基材	700円	年間4基	
ダンボールコンポスト 容器	ダンボール箱 その他	300円 2,000円	年間4基 1基
生ごみ水切り容器	3,000円	1基	



補助金額は、購入金額の70%以内です。

補助金の申請は、購入日から3か月以内又は3月末日のいずれか早い日までに!